

## ホワイトマックス 耐久性は塩ビエプロンの2倍 ウレタン100%エプロン 「レッキエーロン」

ホワイトマックス(大阪府枚方市)は、ポリエチレンの手袋、マスク、エプロンなどを製造している。発売から6年目を迎えたウレタン100%のエプロン「レッキエーロン」は、食品工場で一般的に使われている塩化ビニール製の樹脂でコーティングされたエプロンの問題を解決したことで、シリーズ累計1億円を売り上げるヒット商品となった。



レッキエーロンのミニタイプ「E-56」

類あるが、「レッキエーロン」は繰り返し使えるエプロンとなる。繰り返し使えるエプロンのうち、塩化ビニールのは安価だが重たく、カビが生えやすい上に、擦れて傷んでくると、生地や縫製糸が異物混入の原因となっていた。また、中敷きにウレタン樹脂をコーティングしたタイプもあるが、糸くずが出るのを防ぐため、穴を開けた箇所に取り付けた金具の輪に紐を通すタイプが一般的だ。エプロンの形に型抜きするだけの塩化ビニールのものに比べると加工が多くなるので単価も高い。食品工場では、油に強く軽いウレタンのエプロンを使いたいと考えているが、コ

スト面で手を出せなかったという。「ウレタンのエプロンで届けやすいものを模索していた」(同社)。

市場には繰り返し使用可能なエプロンで、型抜きの製品はなかった。型抜きが可能なウレタン100%のシートを素材メーカーから提案を受けたことで、「レッキエーロン」を開発。コストを下げられた上、金具を取り付ける必要がないので、作業中に取れて異物混入となる心配もない。ウレタンシートそのままのため摩擦強度に優れ、水はけがよいので乾きが速く、カビの温床になることを軽減できる。凹凸がないため汚れも落としやすい。

を考えた。第三者機関に磨耗試験を依頼した結果、塩化ビニール製は620回の摩耗で穴が開いたのに対し、「レッキエーロン」は1037回というデータが得られた。約2倍の耐久性があると説明すると受け入れられたという。

異物混入対策という付加価値もあり、塩化ビニールのエプロンからの切り替えも進んでいるという。また、一般的な塩化ビニールのエプロンと比較すると半分の重さとなる。食品工場は女性が多く働いているため、軽くていいエプロンと好評のようだ。

S、M、Lの3サイズをラインアップしているが、外国人向けのオーダーメイドに対応する。エプロンには海外製品も多いが、同社は日本製にこだわっている。カラーは白、ブルー、ピンクの3色だったが、HACCPの義務化で、色分けして管理されることも

## 大阪サニタリー メタルナットの脱落を防止する

増えたことから、「E-50」はグリーンとイエローを追加して5色を展開している。16年6月にはミニタイプの「E-56」を新発売した。「E-50」より幅も丈も小さい膝丈のタイプだ。食品の盛り付け作業や検品・梱包する場面などでエプロンを着用が必要なら現場向けで、販売実績も伸

びている。同社は、「軽くて丈夫で衛生的。長時間使う人の負担を軽減し、長持ちするのでコストダウンにも繋がる。ウレタン100%で生地を使っていないため、異物混入を防げる。サンブルを置いていくと採用される確率が高い」とアピールする。

大阪サニタリーは、バルブ、ポンプ、ミキサーを揃える唯一の国内サニタリーメーカーだ。今春には新製品として、「3Kクランプ 脱落防止仕様」の発売を予定している。同製品はボルトを長くして2カ所にカシメ加工を施すことで、メタルナットの脱落を防止し、異物混入の防止につながることを訴求する。「元々、お客からの要望に

より取り組んできた。頻繁に分解洗浄をされる場合やライ振動などによりメタルナットが緩み、脱落するというトラブルが起きている。その対策として考えた」(同社)。

1・5S、4・5Sまでラインアップしており、現行品と併売を予定している。「エッチングフィルタ」の販売にも引き続き注力していく。エッチングフィルタは金

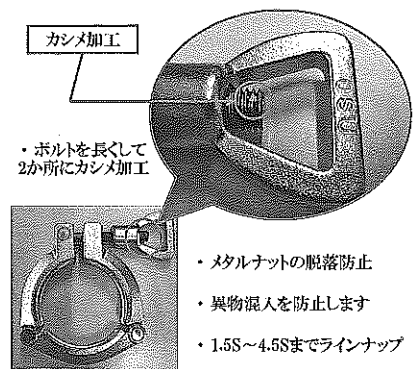
属の板に薬品で細かい孔を空け、円柱の形状に巻いたフィルタである。金網フィルタのように千切れ、それ自体が異物となるリスクがないのが特徴だ。

また、多層構造の焼結フィルタに比べて洗浄性が高く、洗浄後に異物が残存しづらい構造となっている。あらゆる業界において採用実績がある。

同社は安全安心のため強度を重視し、使用可能な範囲をメーカーとして保証する「許容差圧」を設定している。これが競合との大きな差別化ポイントだという。フィルタは液体製品が通過する度に、少しずつ捕集物が溜まって目詰まりが進行し、一次側と二次側で差圧が生じてくる。この差圧が大きくなるとフィルタの破損に繋がってしまう。「許容差圧」を監視することで、洗浄時期・交換時期を明

確に管理することが可能となりフィルタの破損を未然に防止することができ、ユーザーへ安全・安心を提供が可能になる。ラインアップする各種、各サイズにおいて0・5MPaを許容差圧に設定している。

同社はまた、来年2月に開催する「インターフェックス大阪」に出展する。「日頃のお客様への声に焦点を当て、取り組んできたハイエンドな商品群の発展を計画しており、新製品も出展する予定だ」(同社)。



カシメ加工

・ボルトを長くして2か所にカシメ加工

- ・メタルナットの脱落防止
- ・異物混入を防止します
- ・1.5S~4.5Sまでラインナップ